

シリーズ 経営の視点 融資

コロナ融資の返済支援

コロナ禍で実質無利子・無担保で資金を借りられる「ゼロゼロ融資」の返済が今後ピークを迎える。過剰債務となつて返済ができず、倒産・閉院の増加が懸念されている。
2020年3月から始まったゼロゼロ融資は、金融機関に都道府県が利子を補給して信用保証協会が元本を保証し、実質無利子・無担保で融資する仕組みだ。融資返済の据え置き期間の多くは1〜2年とされ、一部では返済が始まっている。

制度を創設。各都道府県が「伴走支援型資金」として借り換えや追加資金の借り入れの受け付けを開始している。大阪府の同制度は融資限度額1億円の場合、固定金利1.2%で融資期間は10年(据え置き5年以内)。保証料は実質0.2%に設定している。申し込みには「経営行動計画書」を作成し、金融機関の継続的な支援を受けることが条件になる。詳細は府のHP参照(大阪府 伴走支援型資金)で検索。

コロナ借換保証制度(大阪府『新型コロナウイルス感染症等伴走支援型資金』)

Table with columns: 限度額1億円の場合, 融資期間, 金利, 据置期間, 保証料, 実質0.2%, 要件, 取扱期間. Includes details on interest rates and eligibility criteria.



福祉医療機構

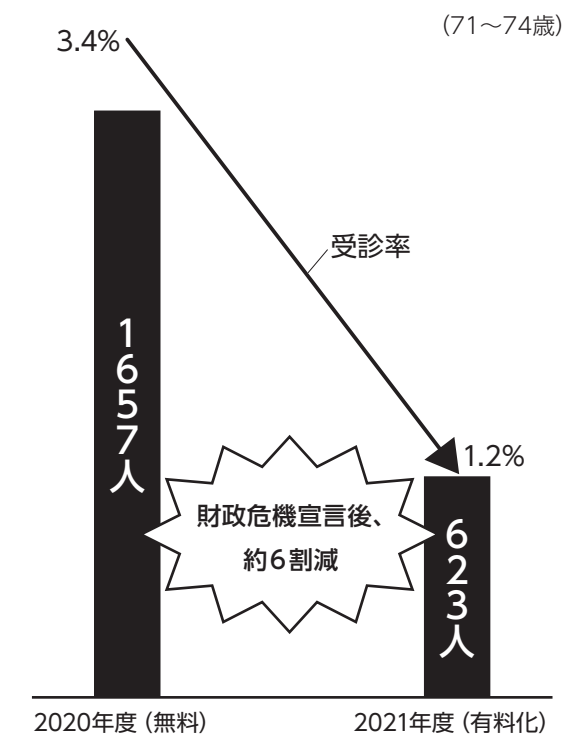


大阪府

図1 成人歯科健診の一部無料化の効果

Table showing the effect of partial free dental checkups for adults from 2019 to 2021, categorized by age (70-74) and payment status (paid/free).

図2 成人歯科健診の受診者激減



この背景には、堺市が2020年度末に発表した、偽りの「財政危機宣言」がある。無料化による効果を十分に検証せず、緊縮ムードの中で制度が打ち切られた(関連6面)。



憲法施行から76年目の5月3日、大阪市内で「輝け憲法、平和と命と人権と」集会が開催された。主催はおおさか総がかり行動実行委員会。

核兵器に投融资するな

5・3大阪憲法集会で訴え

協会はおおさか医科・歯科九条の会を中心に毎年取り組み、今年も矢部あづさ副理事長、中村新太郎理事など役員・事務局など15人が参加した(写真)。

G7に合わせ広島で

第4回金融機関アンケート結果報告会

近畿反核医師懇談会が取り組む「Don't Bank on the Bomb」キャンペーンは、主要7カ国首脳会議が開催されるのに合わせて5月7日、第4回目となる金融機関の核兵器製造企業への投融资に関する調査について、広島市内で結果報告会を開催した。

政党から森山浩行衆院議員(立憲)、宮本岳志衆院議員(共産)、大石晃子衆院議員(れいわ)、大橋裕子参院議員(社民)が国会報告。舞台裏で中村理事が各政治家にDOBの取り組みへの協力を求めた。集会終了後はパレードで街頭に向け、憲法守ろうとアピールした。

第9回 日常診療経験交流会 フレイル新局面 - 医科・歯科共有認識でコロナ禍に学ぶ - 7月9日 午前9時30分~午後4時 保険医会館にて